

## 県立病院を良くする会 次第

日 時 平成24年4月27日（金）  
午後1時30分から  
場 所 徳島県庁10階 大会議室

### 1 開 会

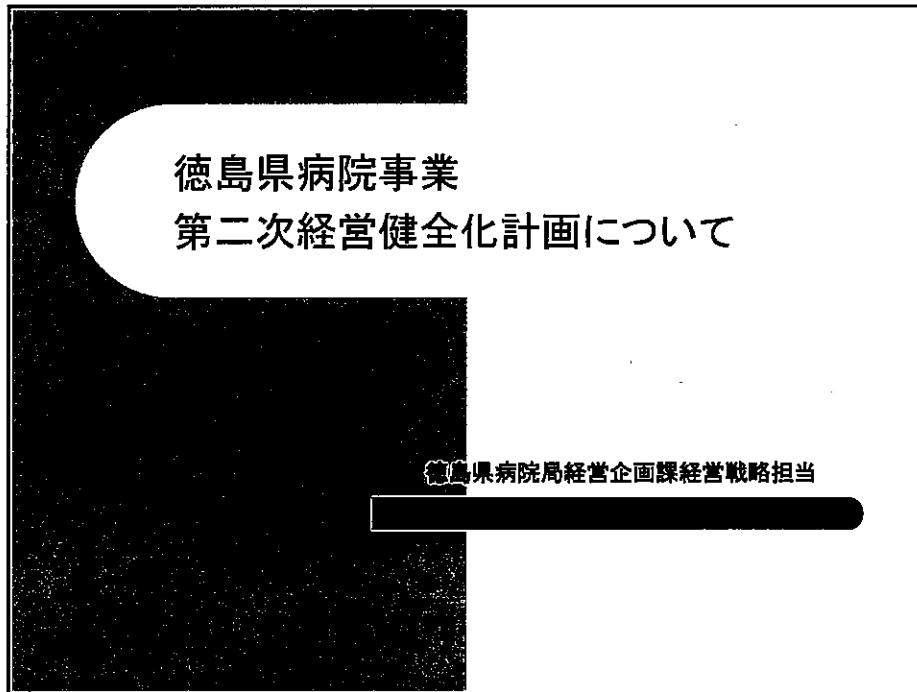
### 2 議 事

- (1) 会長及び副会長の選任について
- (2) 第2次経営健全化計画の概要
- (3) 平成24年度の県立三病院の目標

### 3 閉 会

【配付資料】 資料1 第2次経営健全化計画の概要  
資料2 平成24年度の県立三病院の目標

## 第2次経営健全化計画の概要



## 基本方針と健全化計画

### 徳島県病院事業経営健全化基本方針

- ・平成16年3月策定
- ・H16年度からH25年度(10年間)の経営健全化に向けた方向を明示

### 徳島県病院事業第一次経営健全化計画

- ・第1次経営健全化計画平成16年9月策定
- ・H16年度からH20年度までの中期経営計画

### 徳島県病院事業第二次経営健全化計画

- ・第1次経営健全化計画平成21年3月策定(平成23年2月改訂)
- ・H21年度からH25年度までの経営計画

## 【資料1】第2次経営健全化計画の概要

### 経営健全化計画の基本的視点

#### (1) リーディングホスピタルを目指す

「県民医療の最適化」を見据え、医療水準の向上と医療従事者の育成に先導的役割を果たすとともに、医療の質と透明性の向上を図る

#### (2) 知的生産性に富んだ人材を育成する

全ての職員が向上心を持って取り組む組織文化を育てるとともに、専門的能力向上に資する人材育成を実施する

#### (3) 地域丸ごと医療を実践する

県立病院が地域に開かれた病院となり、経営戦略会議への住民参加等を通じ住民と一緒にとなって医療を実践する

#### (4) 効率的で強固な経営基盤を築く

県立3病院が一体となった、効率的かつ強固な経営基盤を構築し、環境変化に迅速に対応できる組織づくりに取り組む

### 第二次経営健全化計画の目的

#### ◎目的

「県民医療の最後の砦」としての使命を実現するため、医療の質・透明性・効率性の確保に向けた取組指針を示す

医療の質の確保 35項目 7:1看護の実施 認定看護師の育成等

透明性の確保 7項目 DPC対象病院への移行 病院機能評価の更新受審等

効率性の確保 23項目 経常収支比率 職員給与費対医療収益比率 後発医薬品購入額割合等

※なお、項目の詳細は7~9頁に記載

## 【資料1】第2次経営健全化計画の概要

### 県立病院を良くする会設置要綱

第2条 良くする会は、病院事業の次に掲げる事項について、必要な提言を行う。

- (1) 徳島県病院事業経営健全化計画の達成状況の評価及び見直し
- (2) その他県立病院の基本理念の実現に必要な事項

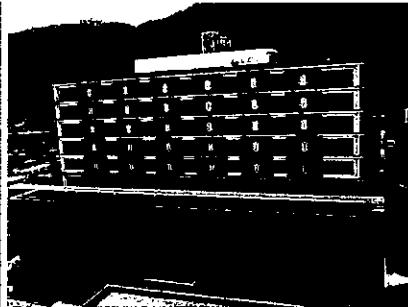
### 徳島県病院事業第二次経営健全化計画

5 進行管理

- (1) 公表  
計画の実施状況を概ね年1回以上、点検評価し、公表する。
- (2) 客観性の確保  
学識経験者等で構成する「県立病院を良くする会」に踏り、評価の客観性を確保する。
- (3) 見直し  
公立病院改革ガイドラインによる再編・ネットワーク部分については、徳島県地域医療対策協議会等の検討に合わせ、また、「総合メディカルゾーン構想」に係る具体的な機能連携については、徳島大学病院との協議状況に応じ、隨時変更し「進化する計画」として見直しを図る。

### 中央病院

県全体の医療水準を高め、地域医療に貢献するリーディングホスピタルとしての機能整備を図る。(健全化計画での位置づけ)



H24.3.30写真



イメージ図

10月前後開院予定

## 【資料1】第2次経営健全化計画の概要

### 新中央病院

イメージ図

核となる医療機能(2本柱)  
急性期医療…救急医療、がん医療  
精神医療

救急医療、地域がん拠点

○ドクターへりの基地病院  
○がんの診断・治療水準の向上  
ペットCT及び放射線治療器  
リニアック等導入

中央ホール  
徳島県産の青色LED、青石、藍染製品を  
配した 落ち着いた中央ホール

### 三好病院

西部保健医療圏域における地域中核病院としての機能整備を図る。 (健全化計画での位置づけ)

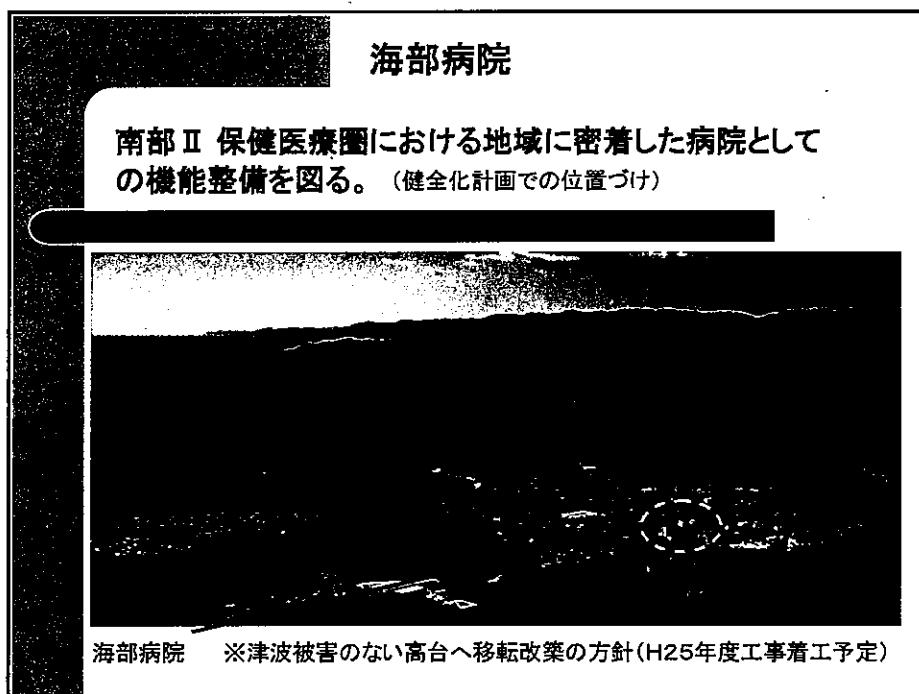
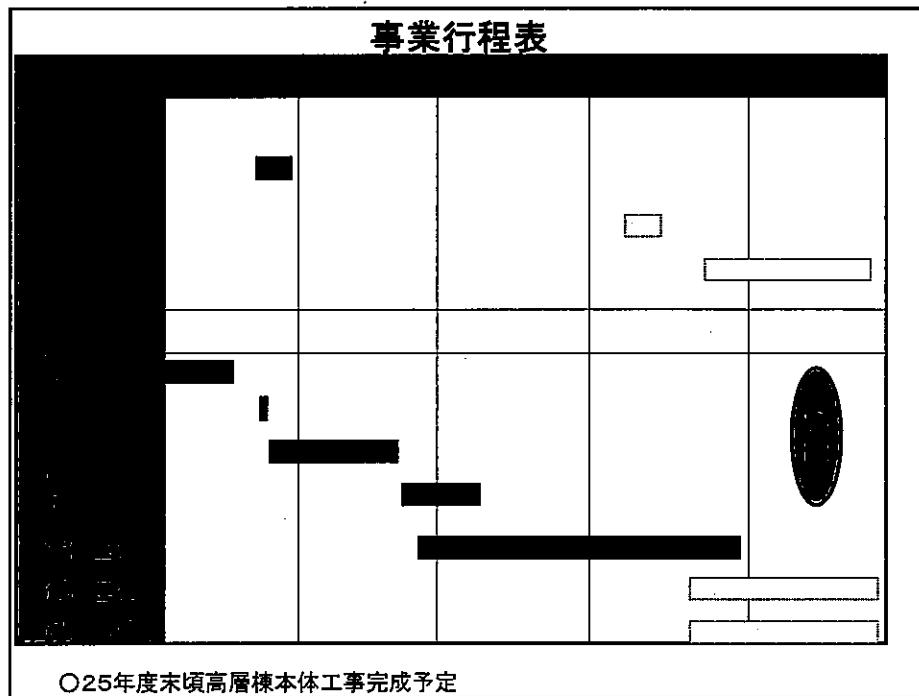
核となる医療機能  
急性期医療  
…救急医療、がん医療

新三好病院

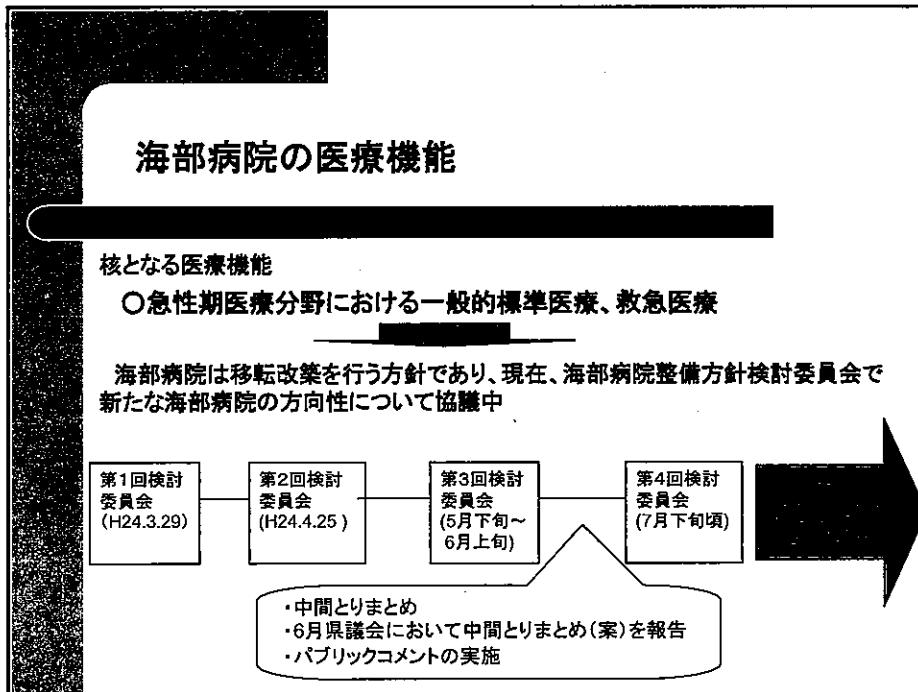
○ヘリポートの設置  
○がんの治療水準の向上  
リニアック導入

イメージ図

## 【資料1】第2次経営健全化計画の概要



## 【資料1】第2次経営健全化計画の概要



## 【資料1】第2次経営健全化計画の概要

### ※資料 推進項目

**医療の質の確保** 35項目

**透明性の確保** 7項目

**効率性の確保** 23項目

### 医療の質の確保①

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	がん診療		○	○	○
2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療		○	○	○
3	糖尿病診療		○	○	○
4	高度医療の充実		○	○	○
5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	○	○	○	○
6	医師確保機能の強化	○	○	○	○
7	医師の安定確保に向けた条件整備	○	○	○	○
8	新たな政策医療等の実施に向けた任用制度の検討	○			
9	コメディカル職員等の独自採用やスペシャリストの育成	○			
10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	○	○	○	○
11	医療の質を示す臨床指標(クリニカル・インディケーター)の設定		○	○	○
12	患者さん中心のチーム医療の実践		○	○	○
13	患者さんのQOL(生活の質)を高める、各職種による指導・活動の推進		○	○	○
14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進		○	○	○

【資料1】第2次経営健全化計画の概要

**医療の質の確保②**

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
15	病院ボランティアの充実		○	○	○
16	患者さんの視点に立ったサービスの提供		○	○	○
17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供		○	○	○
18	「新中央病院における療養環境整備」・ 「三好病院及び海部病院における療養環境の充実」		○	○	○
19	各種病院サービスにおける利便性の向上		○	○	○
20	「県立病院の医療機能を最大限に発揮する、縦ぎ目のない連携体制構築」・「連携による在宅療養支援機能の発揮」		○	○	○
21	医療の標準化に資するクリティカルパス(入院診療計画)の活用促進		○	○	○
22	医療安全文化の確立		○	○	○
23	病院機能評価の更新受審		○	○	○
24	品質管理のための教育・研修の充実		○	○	○
25	「中央病院を中心とした臨床研修医の育成」・ 「三好病院・海部病院での地域医療研修の実施」		○	○	○

**医療の質の確保③**

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
26	中央病院における徳島大学病院・県医師会との協力による指導医の育成		○		
27	中央病院における学生実習の充実		○		
28	中央病院における、都道府県がん診療連携拠点病院としての、県内医療従事者への研修・啓発		○		
29	中央病院における、地域医療支援病院としての、地域医療機関等との共同研修		○		
30	中央病院における医薬品臨床試験業務(治験)の充実		○		
31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施		○	○	○
32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	○	○	○	○
33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	○	○	○	○
34	先進病院に対する派遣研修の実施	○	○	○	○
35	育児と仕事の両立支援	○	○	○	○

【資料1】第2次経営健全化計画の概要

**透明性の確保**

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	DPC(診断群分類別包括評価制度)の導入による医療の透明性の向上		○	○	○
2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開(再掲)		○	○	○
3	患者さんと一緒に医療を実践する「私のカルテ」の発行		○	○	○
4	病院事業経営内容の公開	○	○	○	○
5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催		○	○	○
6	県民公開講座及び院内健康教室の開催		○	○	○
7	病院広報の充実	○	○	○	○

**効率性の確保①**

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	安定した内部留保の確保	○			
2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得		○	○	○
3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受入		○	○	
4	診療報酬請求漏れの防止		○	○	○
5	使用料・手数料設定の見直し		○	○	○
6	一般会計繰入金の定期的見直しと透明性の向上	○			
7	後発医薬品の採用拡大		○	○	○
8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	○	○	○	○
9	医療器械購入における競争入札の推進	○	○	○	○
10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	○	○	○	○
11	未収金の発生防止と回収促進	○	○	○	○
12	業務改善の手段としての情報化の推進		○	○	○

## 【資料1】第2次経営健全化計画の概要

### 効率性の確保②

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
13	地方公営企業法全部適用による効果の最大限の発揮	○			
14	経営戦略会議の充実	○	○	○	○
15	幹部職員の経営管理力の向上		○	○	○
16	DPC(診断群分類別包括評価)データ活用による経営分析の実施	○	○	○	○
17	目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進		○	○	○
18	全部門による実績報告・目標発表会の実施		○	○	○
19	堅実な危機管理体制の構築	○	○	○	○
20	3病院及び病院局本局の一体的の運営	○			
21	3病院の診療面の連携・協調		○	○	○
22	資産等購入における共同化の拡充	○	○	○	○
23	経営指標	○	○	○	○

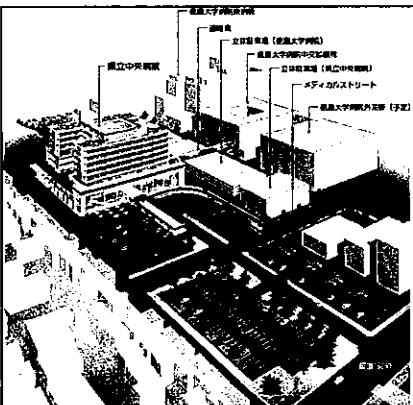
## 平成24年度の県立三病院の目標

①中央病院 ···· P 1

②三好病院 ···· P 10

③海部病院 ···· P 19

新病院開院に向けて



徳島県立中央病院長  
永井 雅巳

県立病院を良くする会 April 27, 2012

徳島県立中央病院の歴史

徳島県衛戍病院 明治41年11月 104年目



陸軍病院 昭和11年11月 76年目



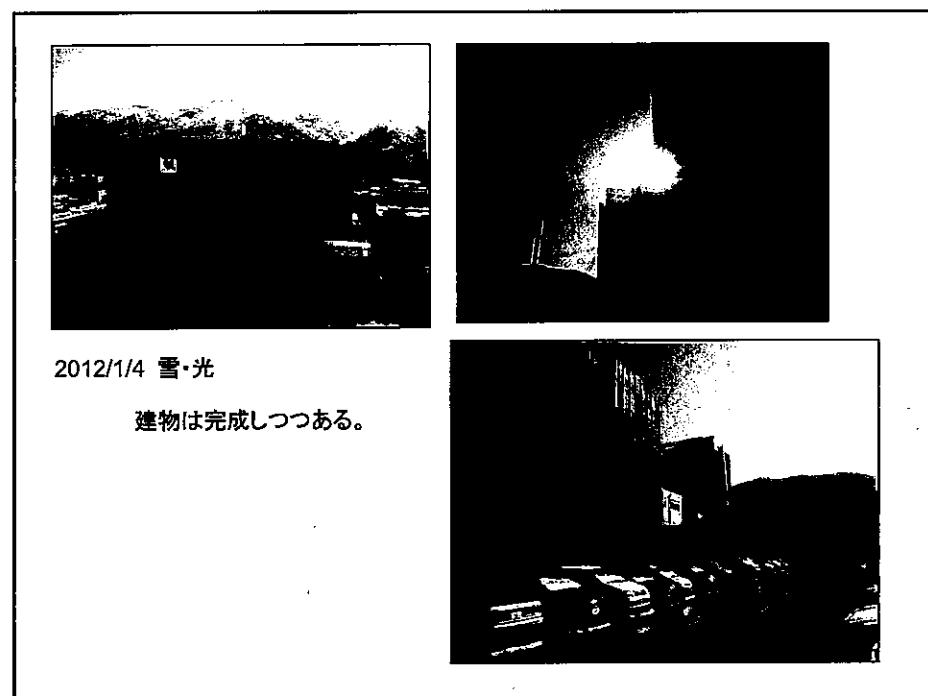
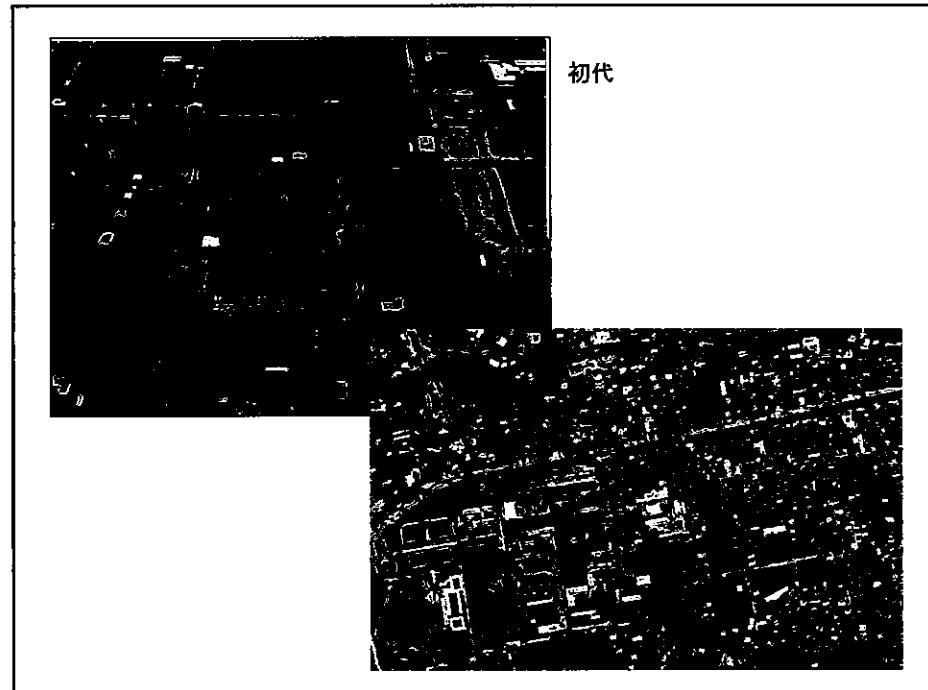
国立徳島病院 昭和20年12月 67年目

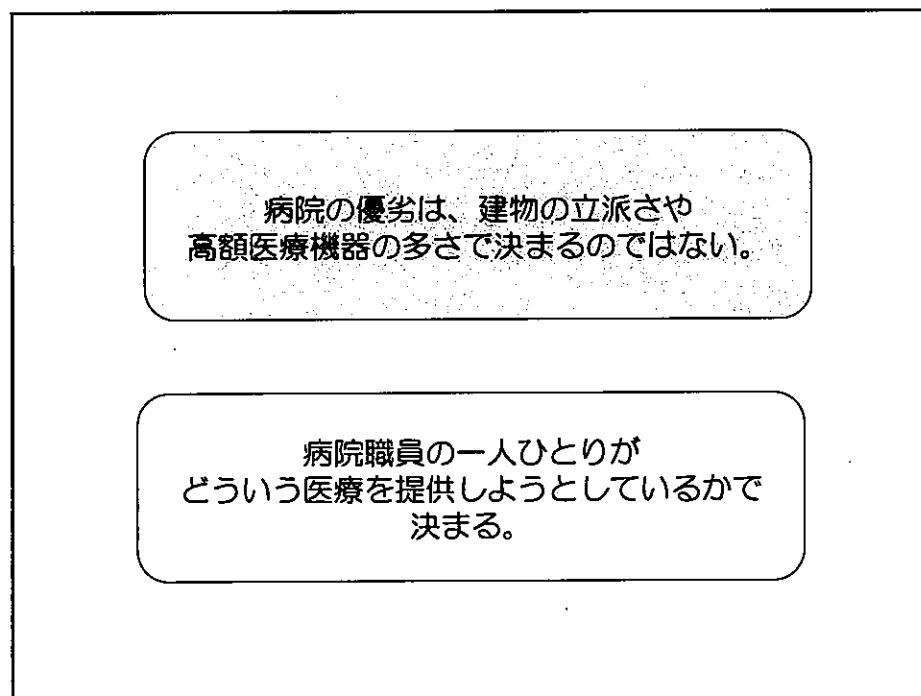
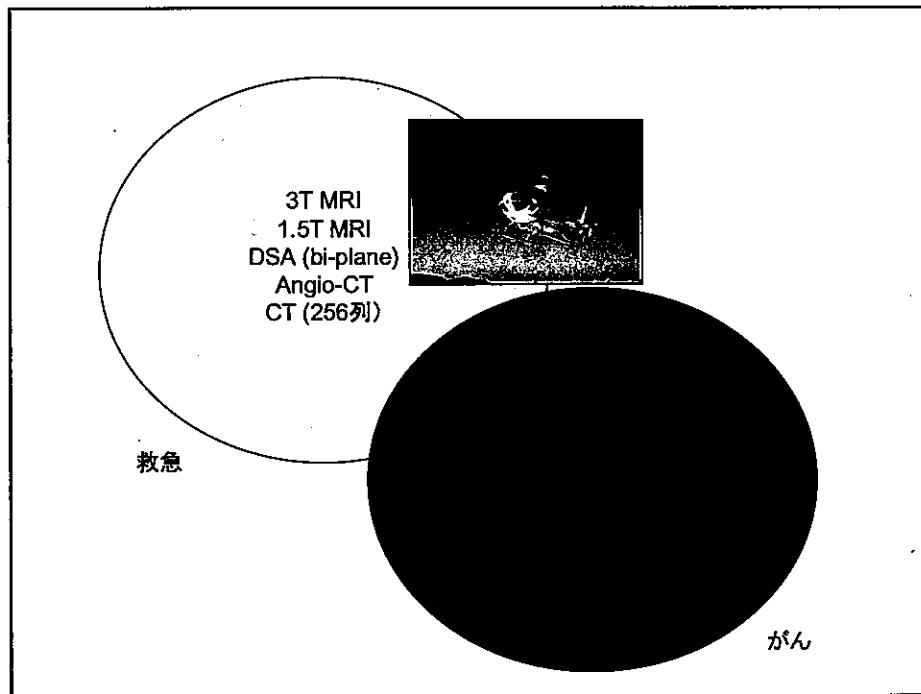


徳島県立中央病院 昭和28年7月 59年目

現病院改築 昭和48年7月 39年目

【資料2-①】中央病院





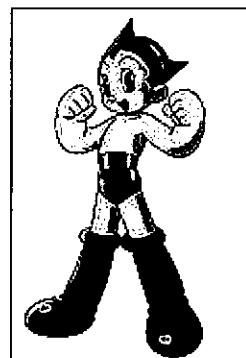
患者と仲間に、もっと優しい病院であれば、  
素晴らしい病院なのに



Professionalな集団による優しい病院創り

## 強くて・優しい病院

- ・ 強い： 断らない紹介・救急  
24時間急性期病院  
困難な症例を扱う
- ・ 優しい： 患者・家族  
地域連携医療機関  
仲間・スタッフ



## チーム医療の達成

- ・急性期病院としての機能は、チーム医療の達成から始まる。
- ・チーム医療は、医療従事者が互いの職責を果たし、互いの立場を認め合い、尊敬・感謝の気持ちを表すことから始まる。
- ・それぞれが、やりがいのある職場環境を創る努力が、Leading Hospitalを創る。

一人の夢は夢で終わるが  
みんなで見る夢は、現実となる。

クリック なか見! 検索

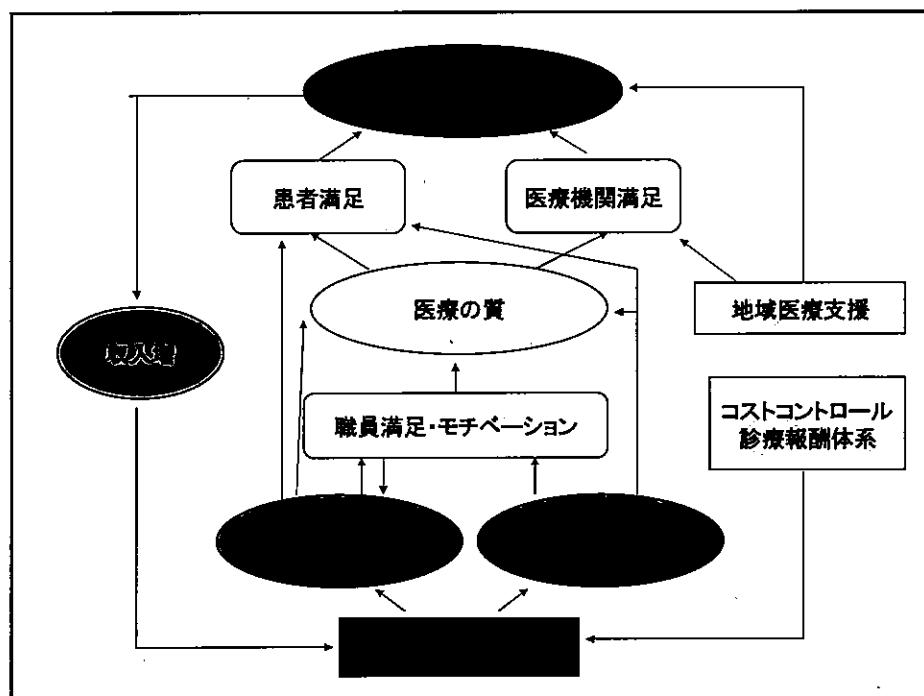


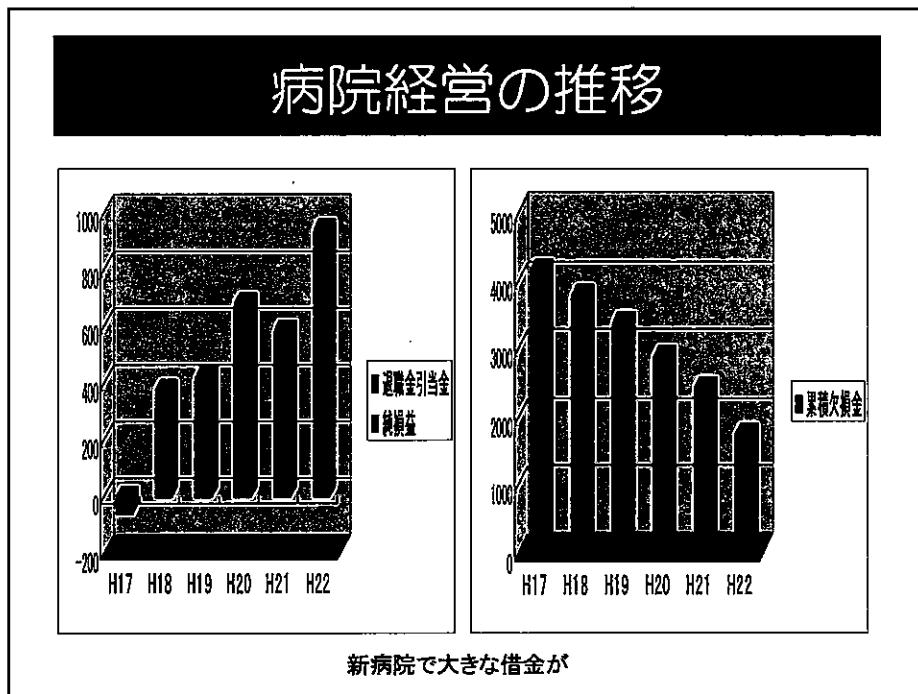
【資料2-①】中央病院



一人では50m9秒台でしか走れない子が、  
なぜ、足を縛られても、8秒台で走れるのか？

感動を与える医療の提供





次世代に負債を残さない



## 収益を上げるために

- ・救急を断らない。
- ・紹介を断らない。
- ・医療の質を上げる。
  - ・合併症を創らない。
  - ・チーム医療を実施する。

当院の使命と一致

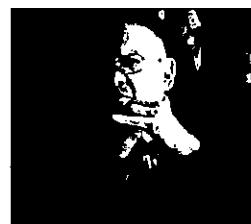
## 新病院運営の基本方針

- ・外来は、紹介患者主体。  
再診患者は逆紹介へ。  
フリーアクセスは救急のみ。  
全体として縮小し、  
医療資源の投入は、
- ・入院を行い、救急・集中、手術中心

地域完結型医療の推進

## 挑戦する組織へ

- ・挑戦しなければ、組織は衰えるし、  
有能な若者は腐るか、出て行ってしまう。



DPC II 群へ  
機能係数 >0.03  
を2年以内に達成。

## 平成24年度 重点目標

徳島県立三好病院  
平成24年4月27日



## 新病院の方向性

### ① 安全・安心な医療の提供

地域完結型医療体制の構築

地域に開かれた病院

### ② 高度・専門医療への取組み

四国中央部の医療の拠点病院

### ③ ドクターへりによる救急搬送体制の構築

### ④ 災害時における医療体制の整備

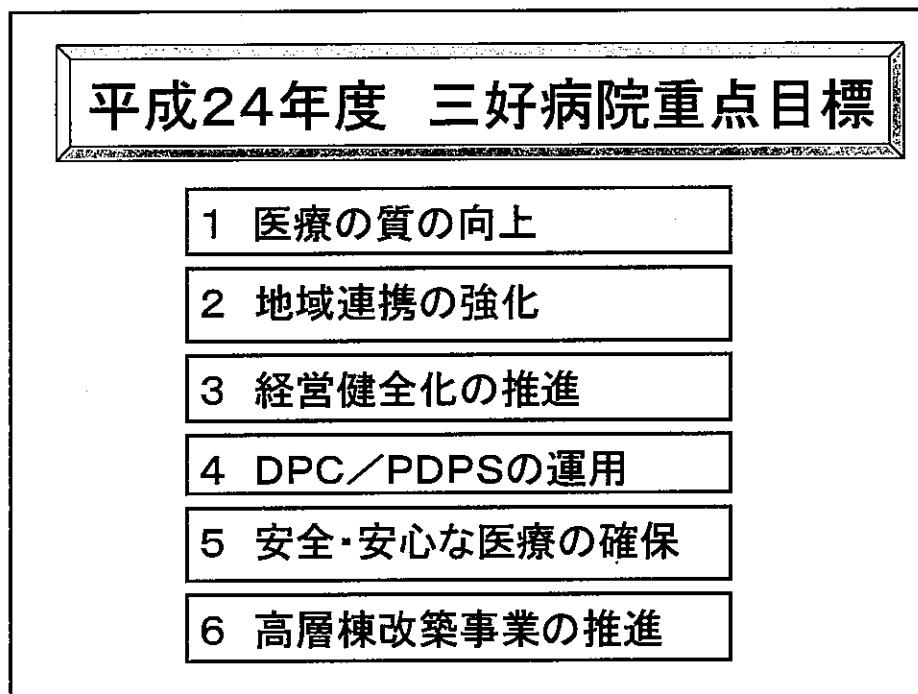
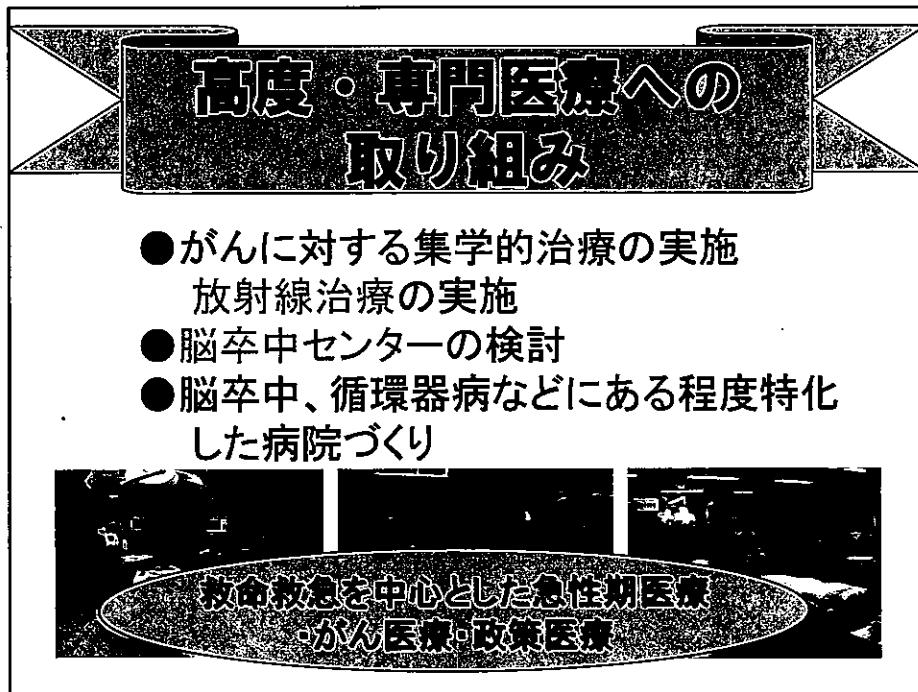
## 地域完結型 医療供給体制の整備

徳島県西部保健医療圏における  
適正な医療を確保するための協定書  
(平成20年10月30日)

市立三野病院、  
町立半田病院との  
連携と機能分担



徳島大学病院や県立中央病院からの支援



## 1 医療の質の向上

救急・がん医療を中心とした  
急性期医療 と 政策医療

徳島県地域がん診療連携推進病院の指定(平成24年3月)

- ・ 医師・看護師の安定的確保  
　7:1看護の実施(平成26年度)
- ・ スタッフの資質の向上  
　人材の養成 ← 認定看護師の育成
- ・ チーム医療の強化

### 1 医療の質の向上

#### 医師の安定的確保

医師不足：三好病院だけでは解決困難



地域の課題として、市町・医師会・住民と  
共に取り組む → 大学、中央病院の協力

#### 徳島県地域医療再生計画

県立三好病院を「総合メディカルゾーン西部センター」と位置づけ、拠点機能を強化を行う・・・・。

1 医療の質の向上

指定期間:平成24年4月から平成26年3月

**徳島県地域がん診療連携推進病院  
としての取り組み**

- ◆がんの集学的治療の提供体制と標準的治療の提供
- ◆病病連携・病診連携の協力体制  
院内及び地域連携クリティカルパスの整備
- ◆緩和ケア提供体制の充実
- ◆情報の収集提供体制  
相談支援センターの設置、院内がん登録  
キャンサーボード、がん患者教室

1 医療の質の向上

**スタッフの資質の向上**

**医学教育センターの取り組み強化**

体系的効率的な教育研修の実施

- 認定看護師の育成
  - ・感染管理、皮膚・排泄ケア→取得済み
  - ・救急看護、がん化学療法→H24取得見込
  - ・緩和ケア、糖尿病、がん性疼痛、脳卒中リハビリ  
→H24研修予定

職種間の知識の共有

- 伝達研修の実施

1 医療の質の向上

## チーム医療の強化

多職種からなるチームにより  
医療内容の充実・患者のADL(日常生活能力)の向上

- 緩和ケアチーム
- 褥瘡対策チーム
- 栄養サポートチーム
- 排泄ケアチーム
- 外来化学療法推進チーム
- 呼吸ケアチーム



診療報酬改定に係る施設基準の取得をめざして

- 栄養サポートチーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算
- 糖尿病透析予防指導管理料など

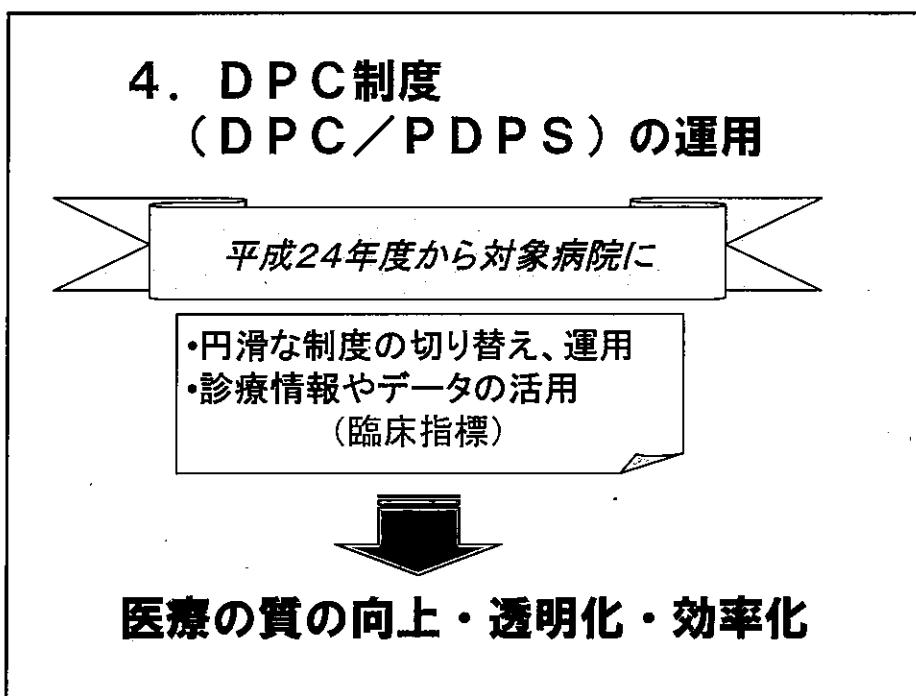
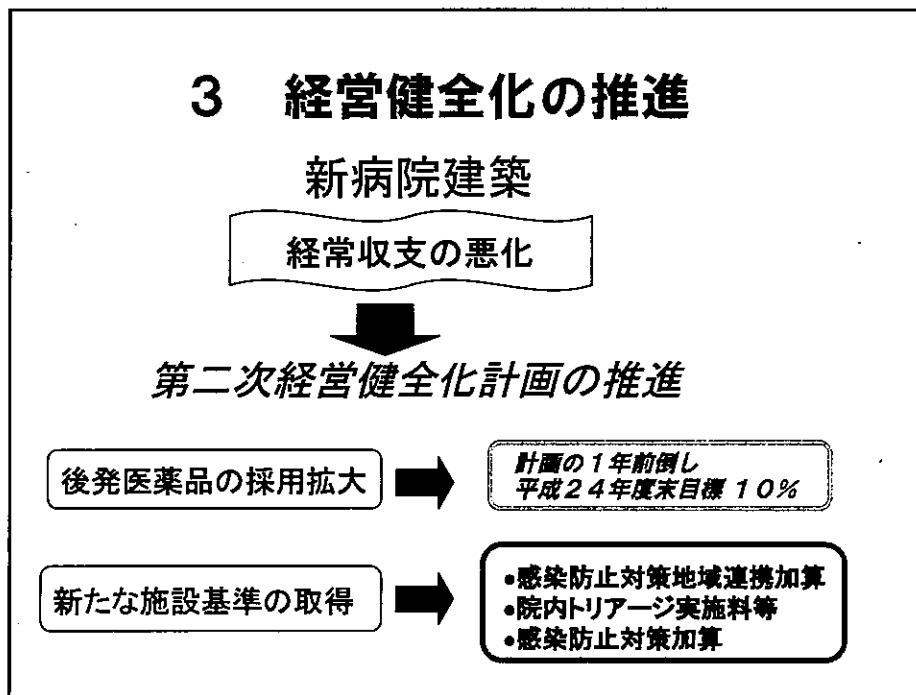
## 2 地域連携の推進

平成25年度  
地域医療支援病院の施設基準取得



## 逆紹介の推進

医療・介護・福祉との連携強化



## 5 安全・安心な医療の確保

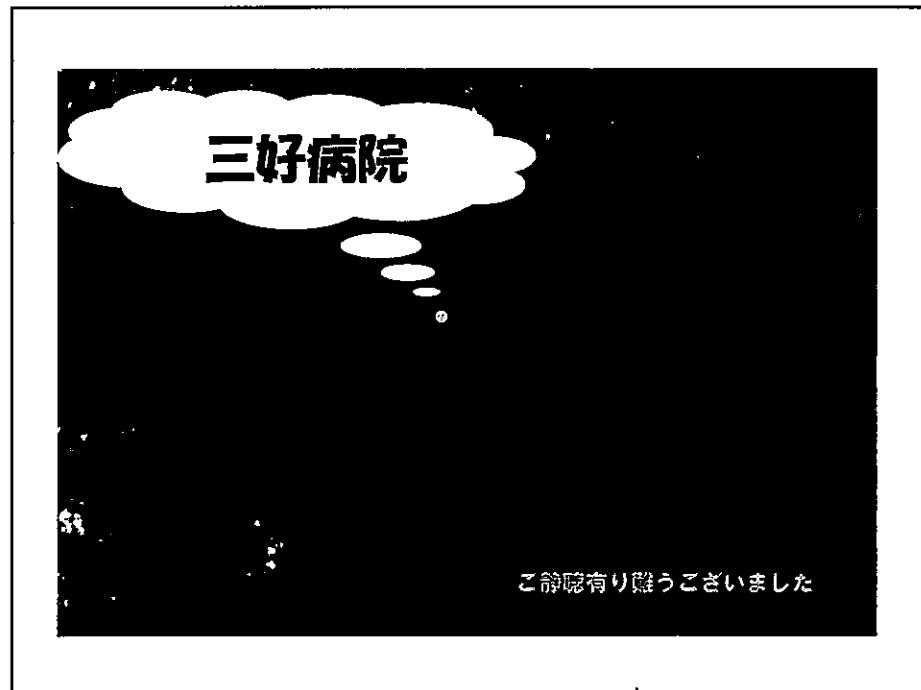
### 平成24年度医療安全センターの取り組み

1. 医療安全教育を充実し、知識の向上をはかる
2. 情報発信を行い情報の共有を図り、職員の医療安全に対する意識を向上させる
3. 院内感染の防止  
感染管理 → 地域医療機関との連携

## 6 高層棟改築事業の推進

- ☆計画的な開院準備  
高度医療機器の選定、導入
- ☆工事中の安全確保
- ☆患者の療養環境の維持





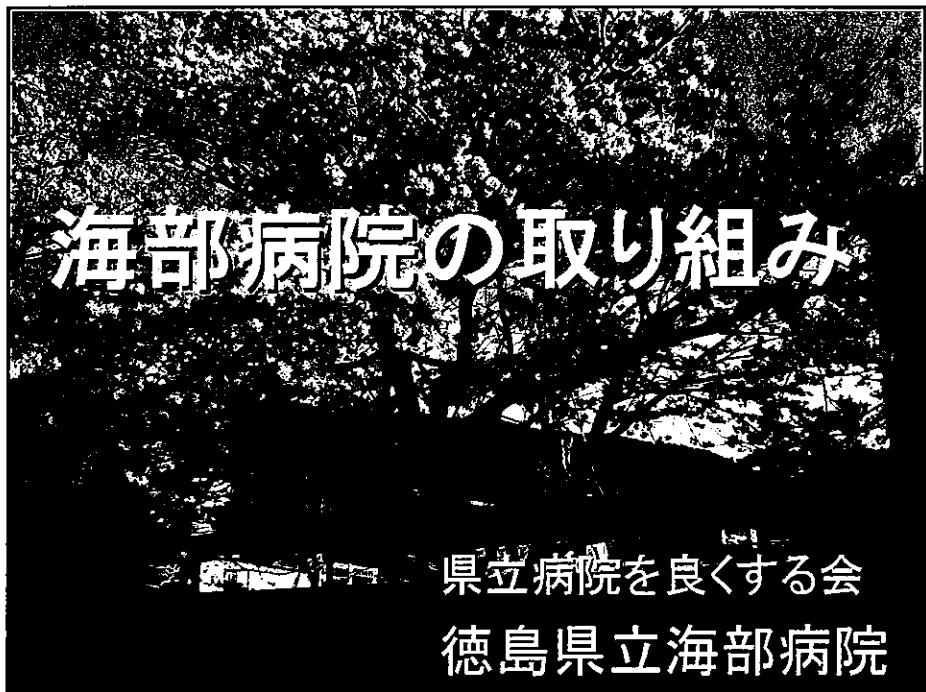
いけるよ！  
行動計画  
(オジリーワン徳島行動計画)

平成23年7月

III 安全安心・実感とくしま  
4 しっかり医療とくしまづくり

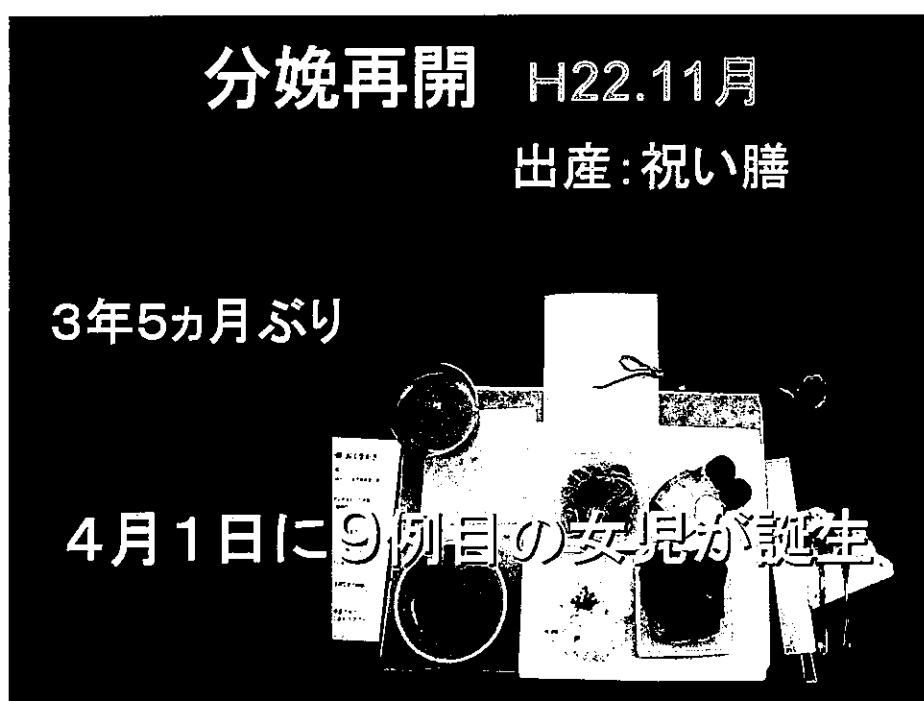
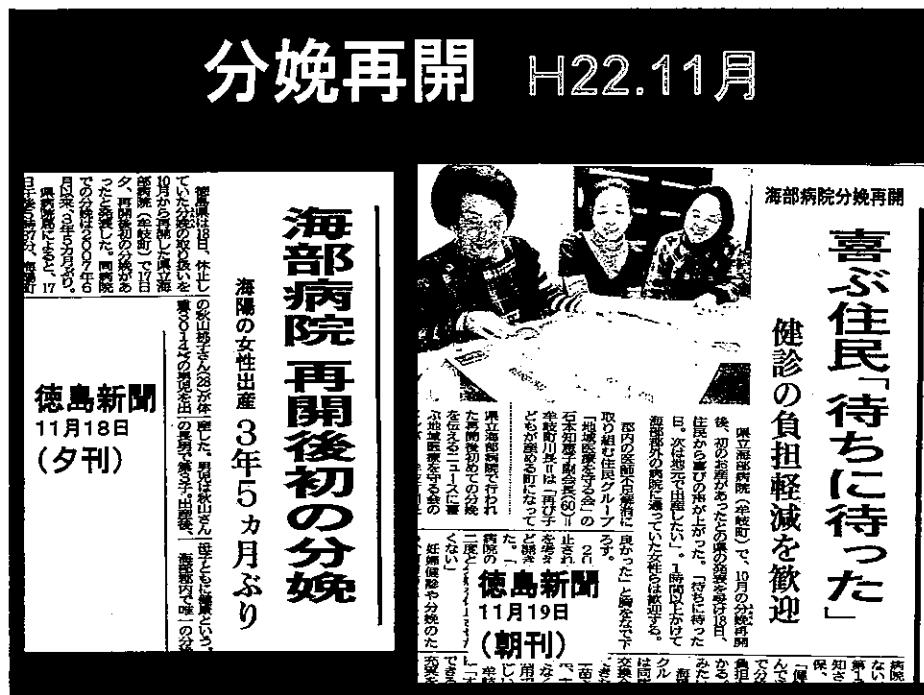
◆長期ビジョン編から◆

- ◇ 地域ごとの医師偏在は解消され、地域の基幹病院には必要に応じて診療科が適正に配置されています。
- ◇ 「遠隔医療システム」や「ドクターヘリ」などにより、広域救急医療体制の整備が進んでいます。
- ◇ .....いつでも、どこでも.....  
.....安心の医療体制が実現しています。

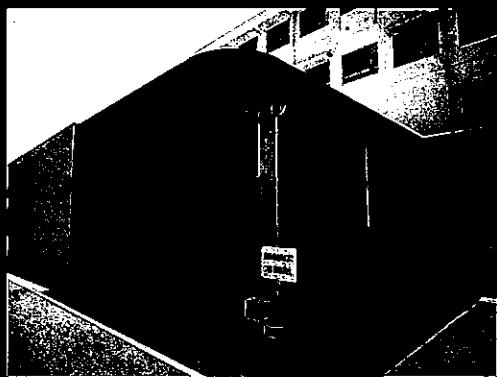


## 過去2年間の取り組み

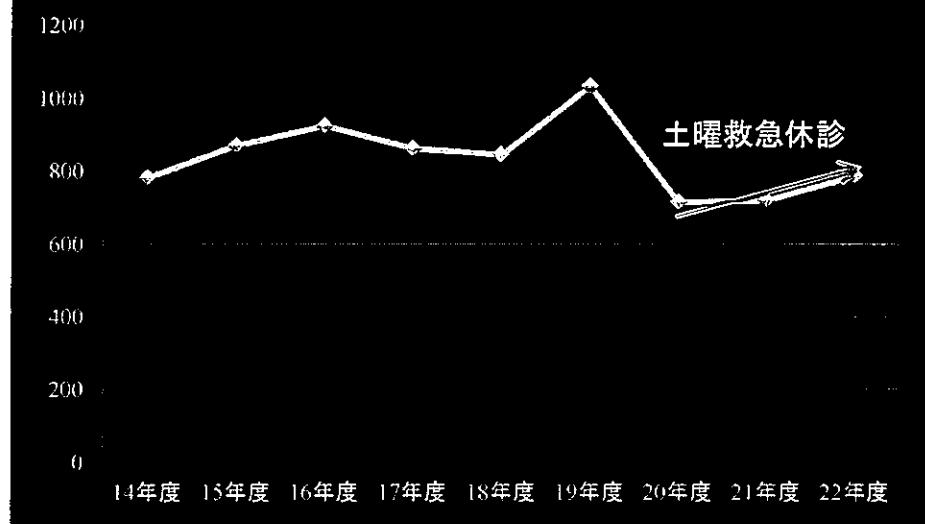
分娩再開・継続のための体制づくり  
土曜日救急再開のための体制づくり  
訪問医療の充実・強化  
医師・看護師等の医療職員不足解消に  
向けた取り組み  
住民、医療職から愛され、信頼され、選  
ばれる病院づくり



## 救急車搬送患者の状況



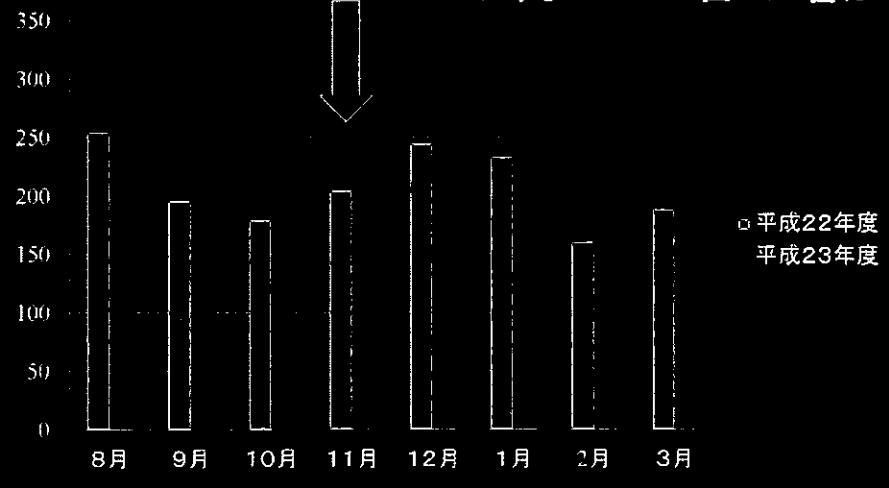
## 救急車搬送患者





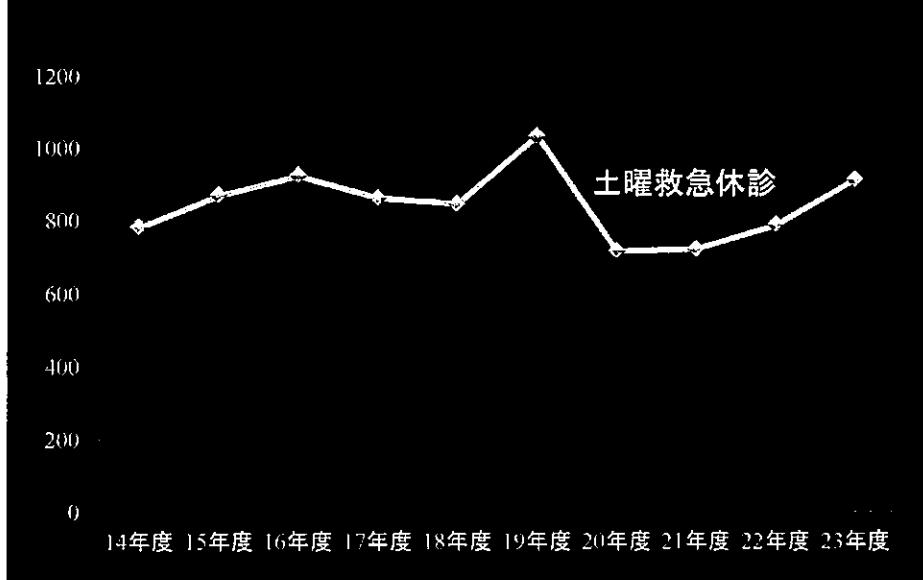
## 土曜救急再開後の患者数

5ヵ月で320名の増加



## 救急車搬送患者

土曜救急休診



海部病院が目指す目標

総合医の育成を通じ  
病院機能を充実させる

基本方針

- 1) 医療機能の充実
- 2) 災害拠点病院としての対応

## 1) 医療機能の充実

### 訪問診療・リハビリ

H22.5月～

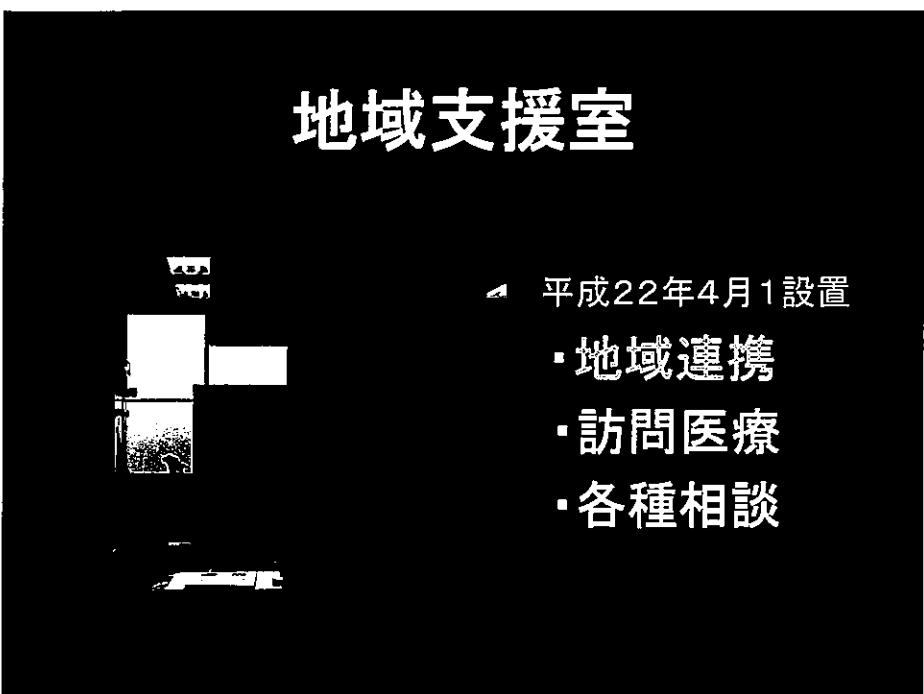
訪問診療

訪問リハビリ



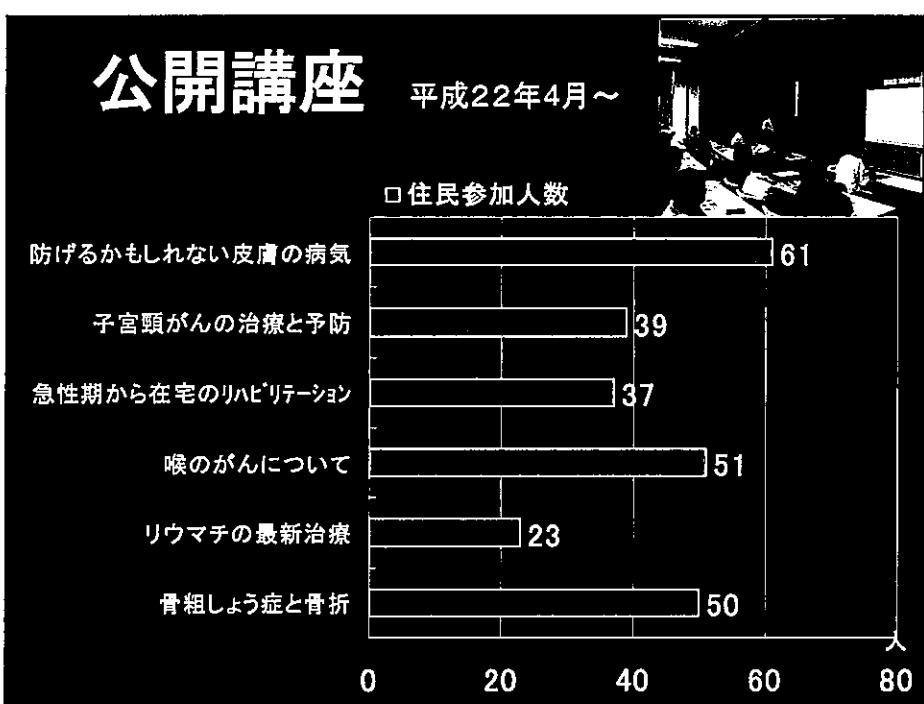
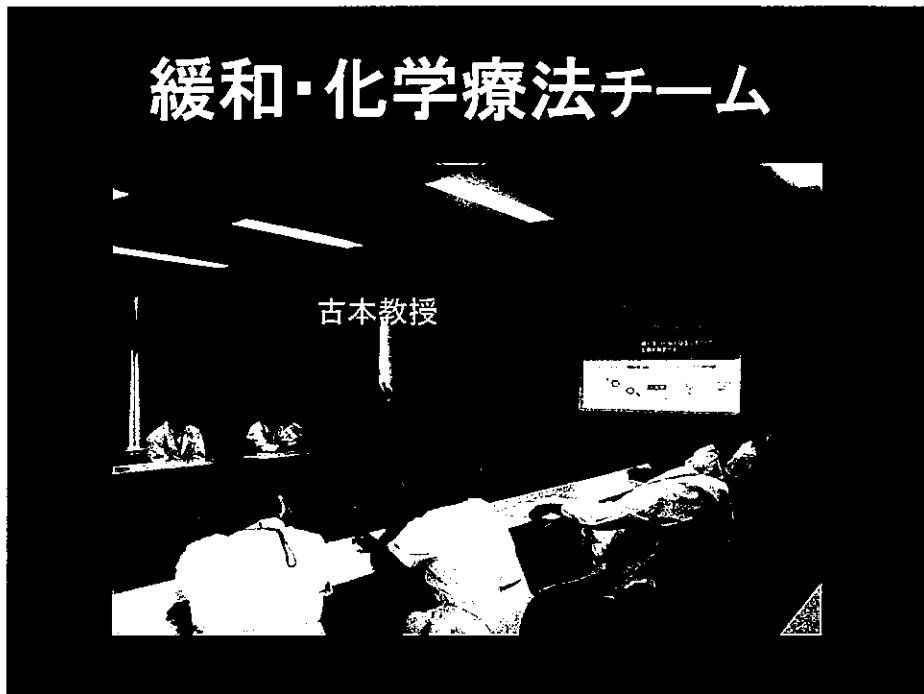


## 訪問看護



## 地域支援室

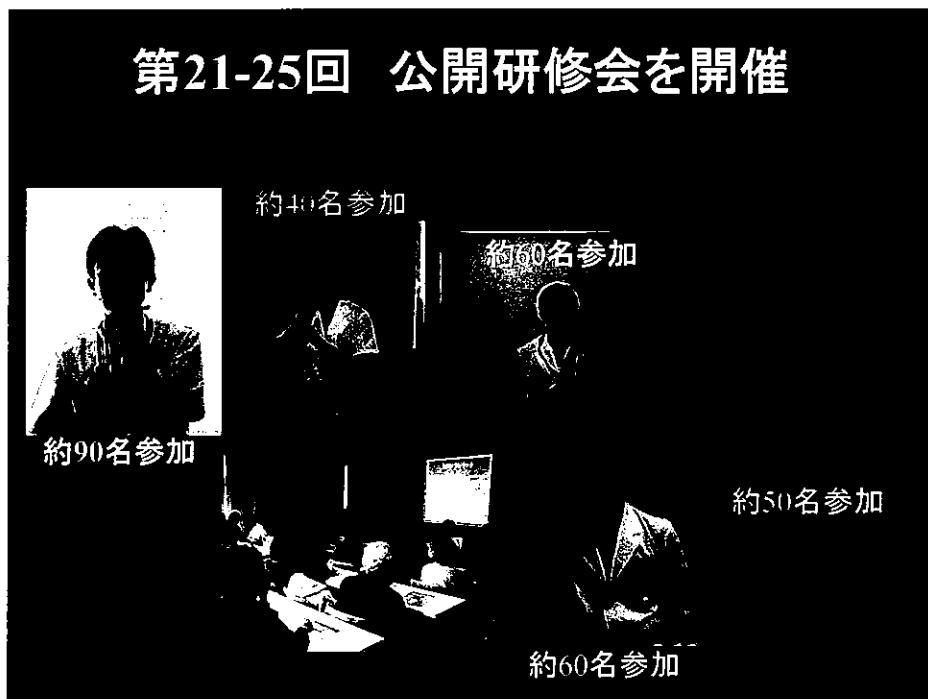
- ▲ 平成22年4月1設置
- 地域連携
- 訪問医療
- 各種相談



## 第19・20回 公開研修会を開催



## 第21-25回 公開研修会を開催



## 成人病教室

月	テーマ
4月	生活習慣病
5月	動脈硬化
6月	糖尿病
7月	高脂血症
8月	高血圧
9月	糖尿病
10月	心臓病
11月	脳卒中
12月	糖尿病



場所:和サロン(1階)  
時間:14:00~15:00  
毎月第1, 2, 3, 4火曜日  
第1:看護師  
第2:薬剤師、検査技  
診療放射線技師  
第3:栄養士  
第4:理学療法士

## がんリハ研修会(H22.7.10-11)



## NSTチーム活動

平成22年度の状況

	回数	回診 (延べ人数)
4月	1	10
5月	3	20
6月	5	40
7月	4	38
8月	2	16
9月	5	27
10月	4	35
11月	2	13



毎週火曜日:カンファレンス

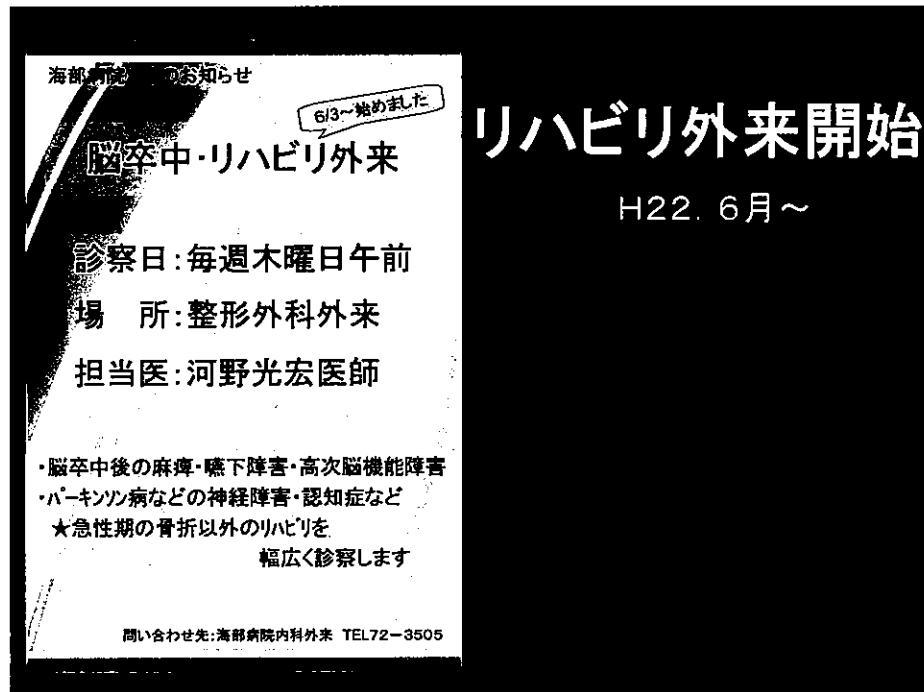
毎週水曜日:チームラウンド



## 早朝リハビリテーション

H22.6月~

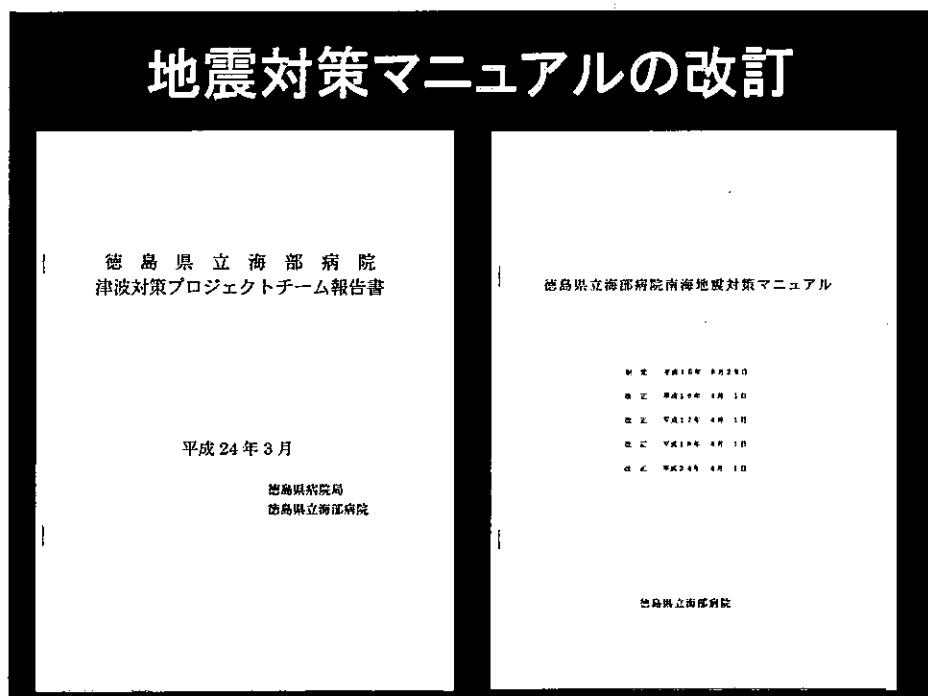
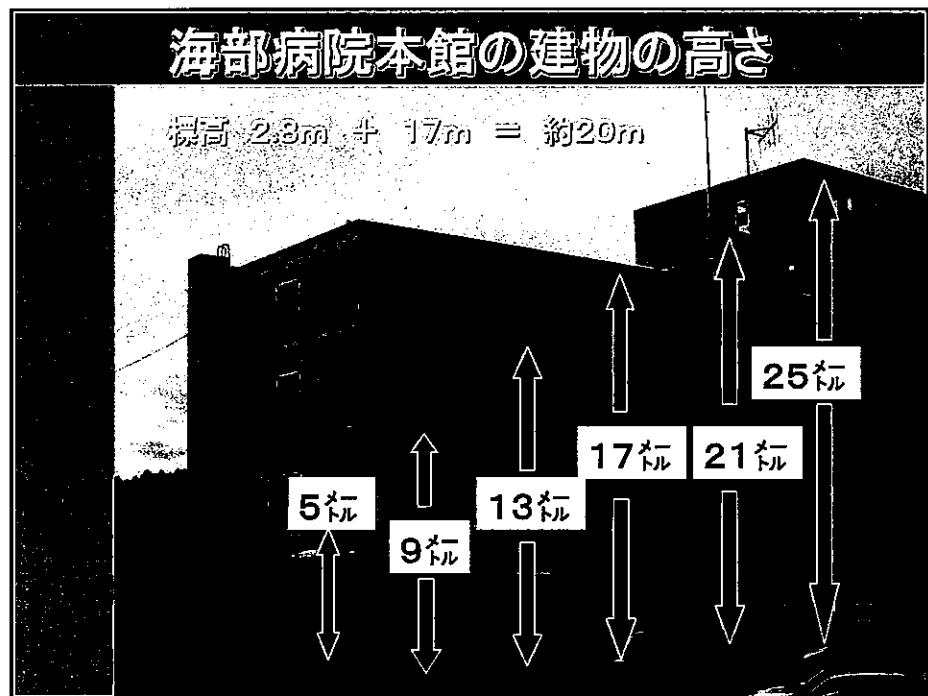
朝食時より適正なポジショニングと車椅子座位能力を向上させ、廃用や誤嚥を予防する  
また、早朝から離床を促すことで生活リズムを取り戻し、質の高いリハを提供することで、ADL・QOLの向上を目指す

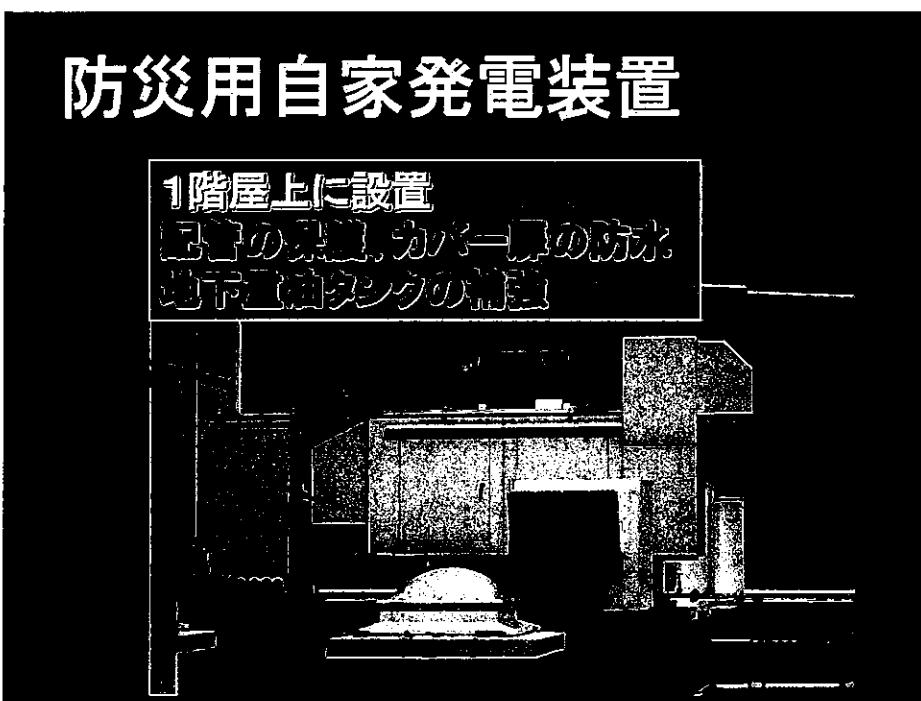
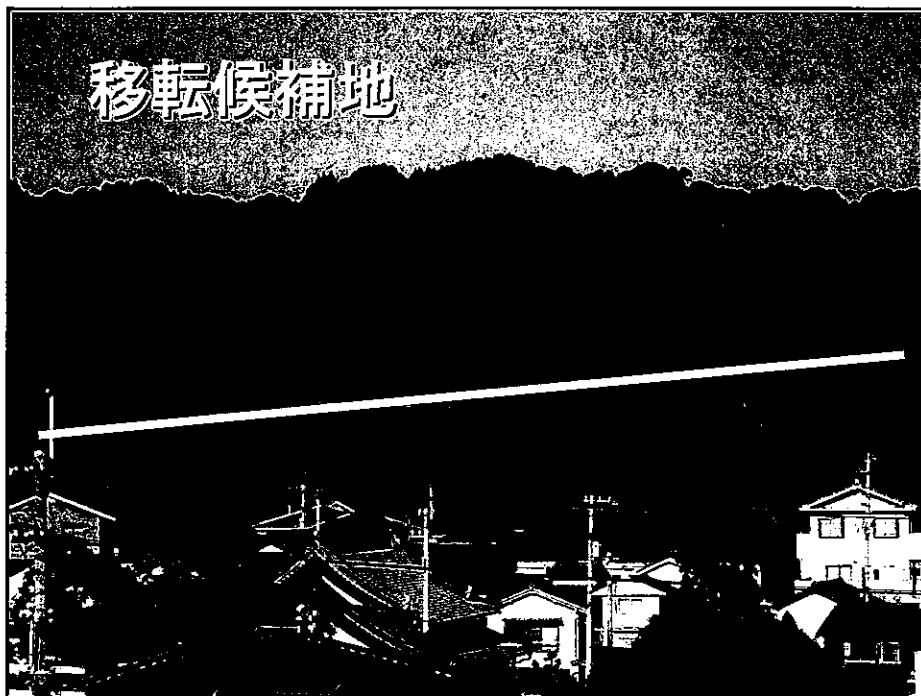


## 2) 災害拠点病院の対応



## 【資料2-③】海部病院





## 非常食、保存水

食料(2700食分)、水(624L)は4Fへ移動した



## 避難路、トイレ等の確保



### 屋上の改造

- 1) 転落防護柵の設置
- 2) 非常用トイレの置き場所確保

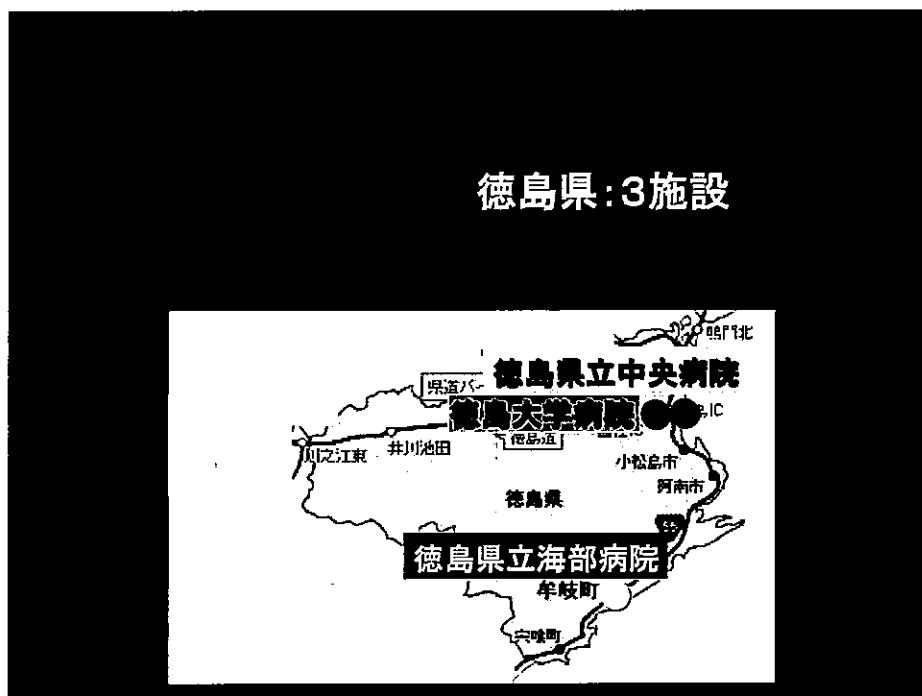
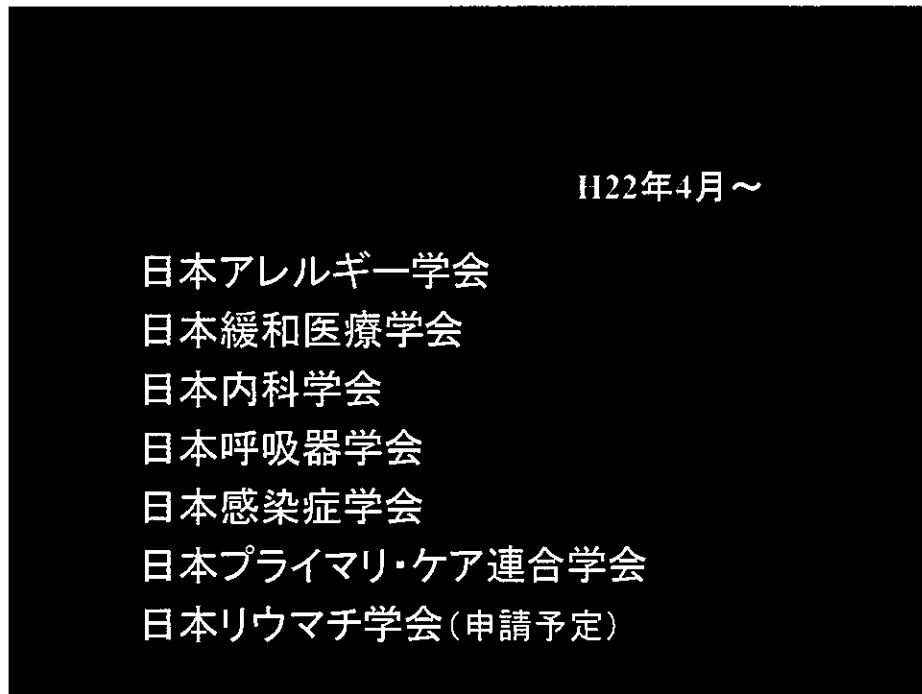
**5F倉庫には最低限の備品を保存**

### 備品の充実も検討





**緩和ケア (Palliative Care)**  
**感染管理 (Infection Control)**  
**糖尿病看護 (Diabetes Nursing)**



### 徳島県:4施設



### 徳島県:9施設

鳴門病院  
徳島市民病院  
徳島県立中央病院  
徳島赤十字病院  
阿南共栄病院

徳島県立三好病院

2011年6月6日  
病理解剖を実施

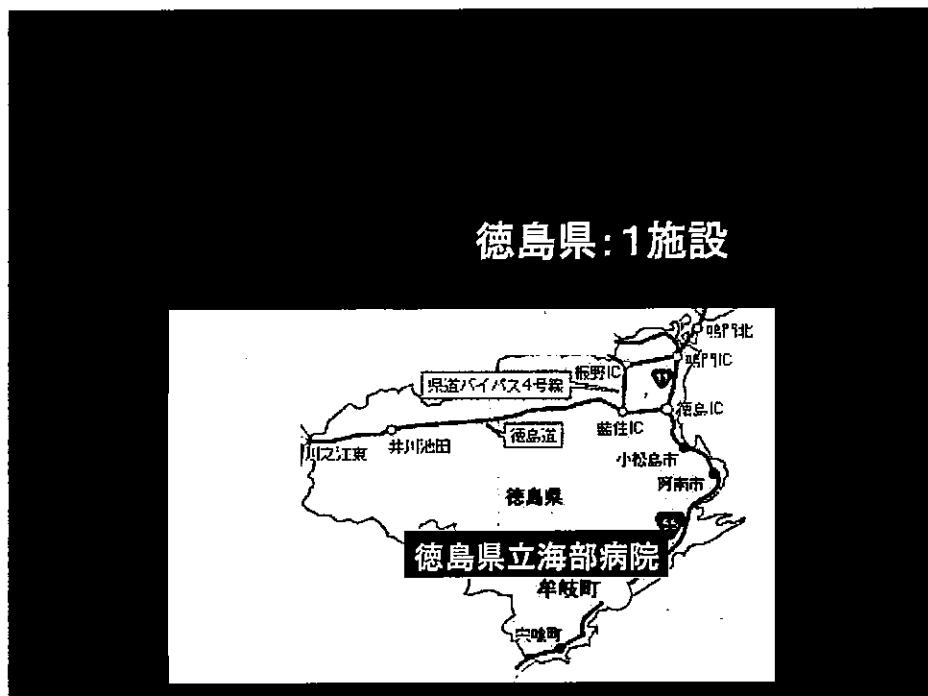


徳島県：4施設



徳島県：1施設

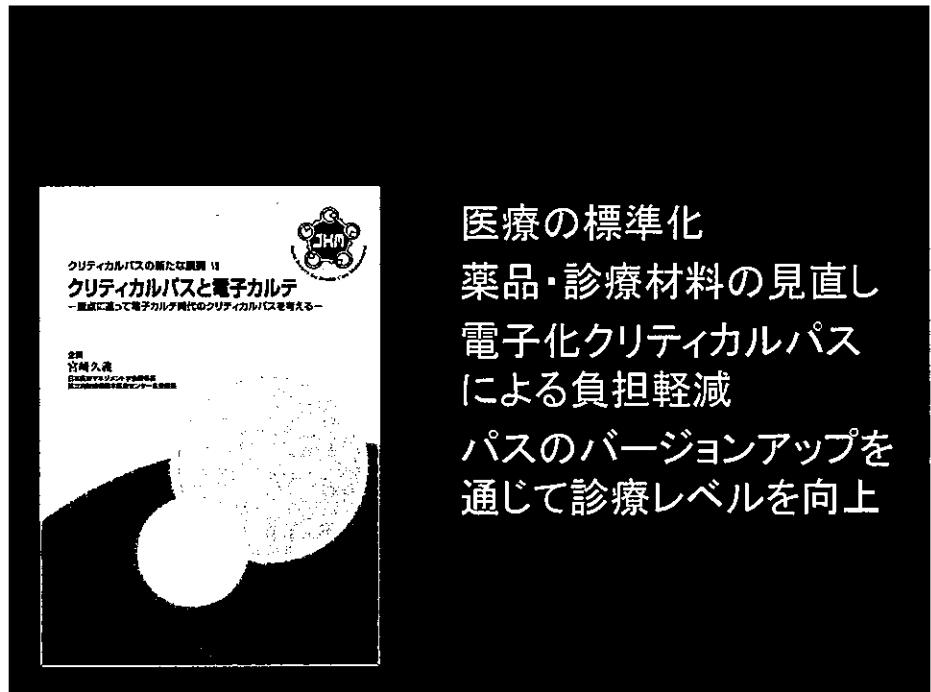




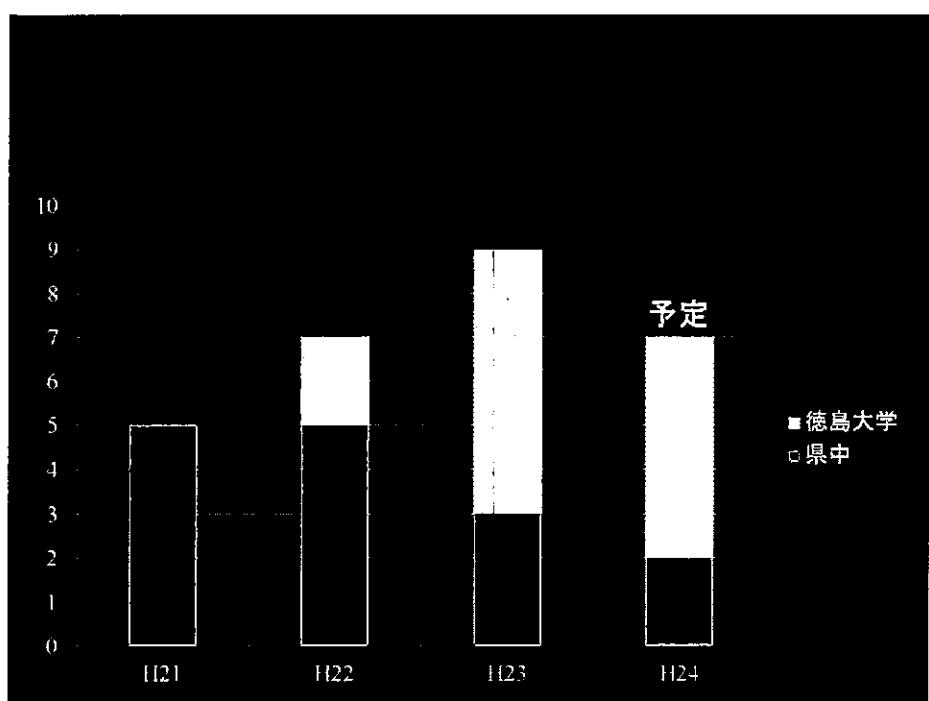
内科カンファランス(毎:火曜日)  
医局勉強会(毎:木曜日)  
抄読会(毎:火曜日)  
院長回診(毎:火曜日、木曜日)  
退院前カンファランス(医師、リハ、看護)

洛和会音羽病院グループとの連携  
指導医の派遣、研修医の受け入れ

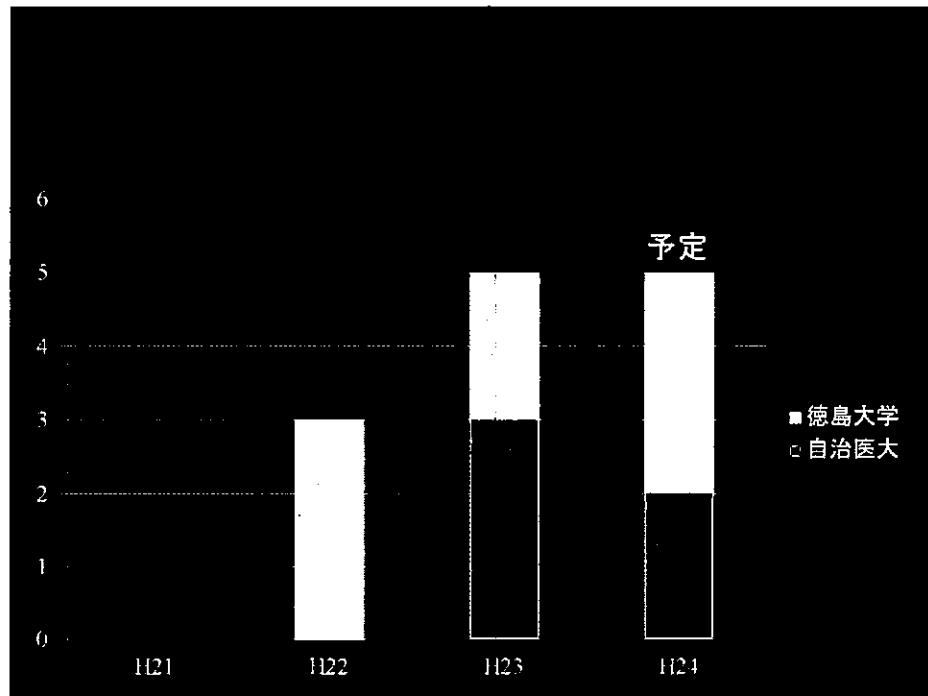
H23年10月:  
後期研修医を  
短期研修に派遣



【資料2-③】海部病院



【資料2-③】海部病院



## 【資料2-③】海部病院

徳島県南部に位置する県立海部病院は、海部郡一円と高知県東部までを診療圏におく地域の基幹的な役割を果たす病院だ。しかし、医師や看護師などの人員不足が目下の大きな課題で、同院では、医師派遣などによる人員確保に努め一方、省力化とデータ管理の確実性を目指し、ICT化を推進している。2011年7月、HIS(病院情報システム)の導入に先立ち、放射線科のシステム更新が行われ、そこで導入されたのがセッテ製 DR 装置 AeroDR。無線／有線を切り替ながら、多様な撮影に適応応じて対応している。

### 徳島県立海部病院

所在地:〒775-0026 徳島県海部郡美波町竹田字竹田75-1  
TEL:0894-72-1168

開院:1910年(明治43年)  
施設:110床(うち精神疾患病棟:5床、感染病棟:4床)  
診療科:内科、小児科、精神科、精神保健科、整形外科、日高診療科、精神科、放射線科

(全8枚)

厳しい医療情勢の中、  
住民とともに  
地域医療再生に取り組む

医師および看護スタッフの地域医療は  
国内全域にわたる深刻な問題だ。坂本  
弘輔院長は現状の状況を語る。

「都市部から離れた地方病院のほとんど  
が医師不足、看護師不足の問題に直  
面しています。当院でも、2003年当時  
15名在籍していた看護師が2009年に  
は10名を切るまでになり、医師不足が  
ありました。

当院では地域医療再生計画に基づ  
き、徳島大学の協力で「前向き医療」を  
開拓。2011年4月から当院を含む県立  
3病院への医師派遣を実施しました。当  
院には、現在、内科医3名、看護師2  
名の医師が交代で派遣され、休止して  
いた診療も再開されています。ただ、苦  
困事項は2013年度までの制度ですか

ら、これまでにどう医師を確保するかが  
以下の基盤の問題です」

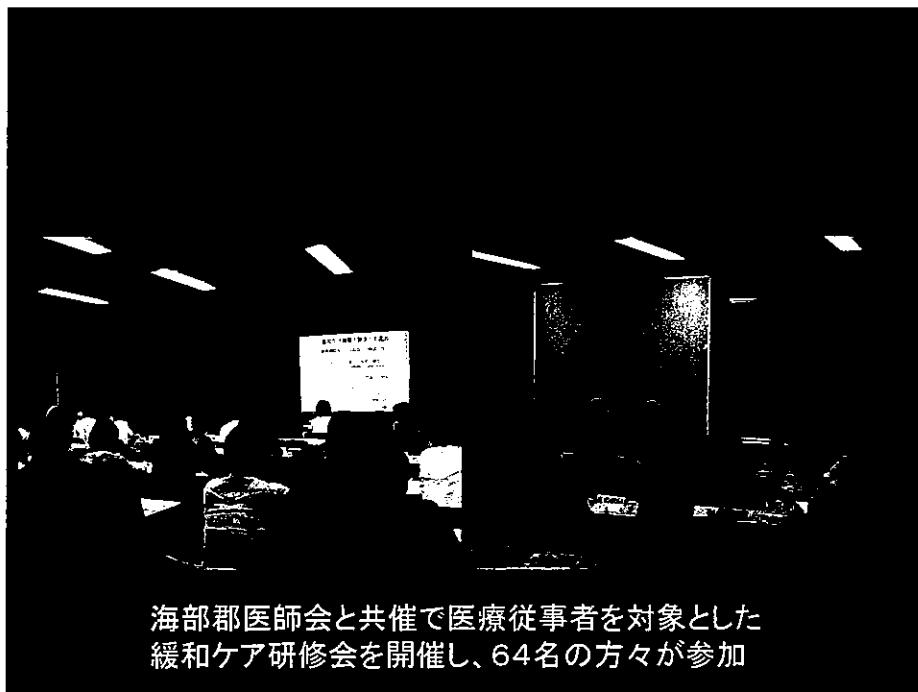
地域住民の医療に対する思いは切実  
だ。南国郡には約2500人の地域住民で  
組織する「地域医療を守る会」がある。  
「守る会」は、2008年、当院が医師  
不足のために土曜日の就診を休止  
せざるを得なくなったら、危機感を抱  
いた住民の方々によって設立されたもの  
です。土曜日の救急診療は2011年1月  
に再開することができましたが、それ  
ではほかの方々の不安が消えたわけではあ  
りません。この地域で子どもが産めるか、病  
卒中で倒れたら手早く救済してもらえる  
のだろうか。ここに病院がなくなったら  
安心して生活することができない。と地  
域医療の行く末に心配を感じながら、  
日々暮らしているのです。

私たちはこれから住民の方とともに、

### 情報発信

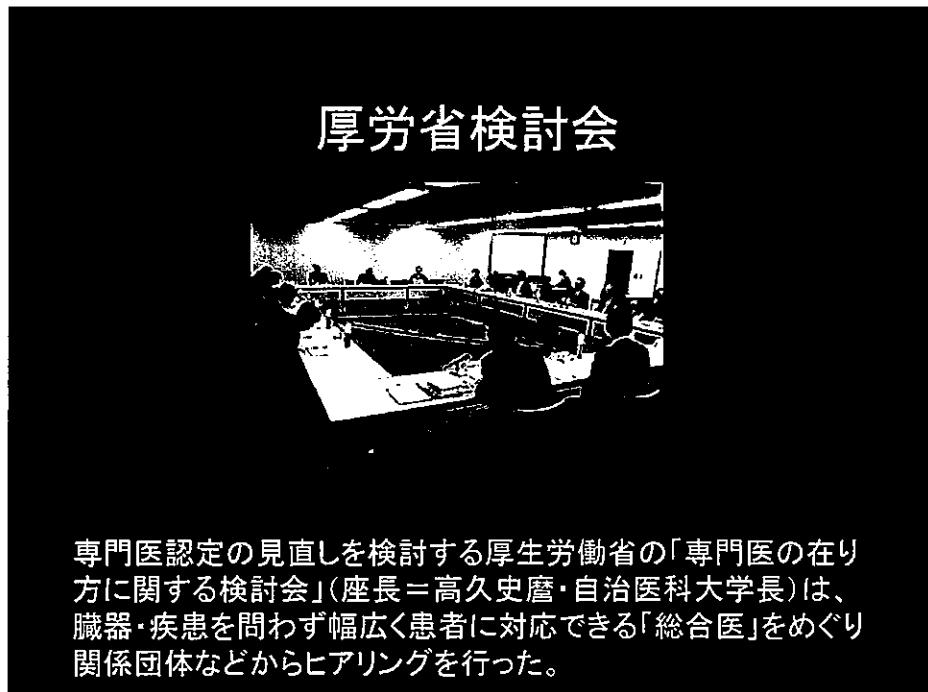


本院へのご支援ご賛同をよろしくお願いします



海部郡医師会と共に医療従事者を対象とした  
緩和ケア研修会を開催し、64名の方々が参加

## 【資料2-③】海部病院



専門医認定の見直しを検討する厚生労働省の「専門医の在り方に関する検討会」(座長=高久史麿・自治医科大学長)は、臓器・疾患を問わず幅広く患者に対応できる「総合医」をめぐり関係団体などからヒアリングを行った。

2010年10月

職員による手作り  
約90万円の節約

## 最後に

総合医の研修・実践の場として全国から選ばれる病院を目指します

医療スタッフ充実のためご支援をお願い致します